

●神戸つ子トラベルコーナー

★古代ギリシアの栄光とエーゲ海の休日16日間
日程／8月14日～8月29日
費用／¥4,488、000

大阪↓成田↓アテネ↓メテオラ↓デルフォイ↓オリンピア↓ナウポリ↓オンシアテネ↓ビレウス↓ミコノス↓ビレウス↓アテネ↓アムステルダム↓成田↓大阪 拓植一雄教授(関西学院大学)が同行します。



青と白の風景

お問合せ・お申込みは大丸トラベルサロン(神戸大丸6F)
電話331-8121

★クルーザー「JASON」とエジプト・ヨルダンの旅
日程／12月28日～1月11日
費用／¥765、000

大阪↓ボンベイ↓カイロ↓スエズ↓(ジュイゾンに乗船)↓アカバ↓エイラト↓サファガ(バス)↓ルクソール↓エズナ↓エドフ↓コムオンボ↓アスワン↓アブシンベル↓カイロ↓ボンベイ↓大阪
お問合せ・お申込みはドッドウェルトラベルサービス(貸合区磯上通8-9-6明治生命ビル)
電話251-0021

★初秋のヨーロッパ12日間

美しい二つの国スイス・オーストリア、そしてパリ・ローマをめぐる旅。雄大な大自然を背景に荘厳な歴史の重みを、軽やかなウィーン・ワルツと香り高いワインと共に楽しめます。

日程／8月21日～9月1日
費用／¥4,766、000

大阪↓ローマ↓ウィーン↓ザルツブルグ↓チューリッヒ↓インターラーケン↓ユングフラウ↓パリ↓

大阪 (オプショナルツアー有)

お問合せ・お申込みは日本旅行三宮営業所 電話241-1881
★兵庫県ハバロフスク親善訪問団
A・日程／7月21日～27日
費用／¥298、000

神戸港↓ナホトカ↓ハバロフスク↓モスクワ↓レニングラード↓モスクワ↓成田↓大阪

B・日程／7月21日～8月4日
費用／¥389、000
神戸港↓ナホトカ↓ハバロフスク↓モスクワ↓ヘルシンキ↓ストックホルム↓パリ↓大阪

お問合せ・お申込みは日ソ協会兵庫支部(貸合区御幸通8 国際会館3F) 電話251-4534
★バタヤビーチとパンコク5日間
「東洋のハワイ」バタヤビーチは天然のビーチです。水上スキー、パラセーリング、水上スノーボード、モーターボートをしよう。
出発日／毎週金曜日(大阪発)
費用／¥103、000(特別会員価格)



バタヤビーチ

お問合せ・お申込みはトップナツチ(貸合区琴緒町5-7 グリーンシャポービル2F)
電話242-2695

★HOME STAY IN U.S.A. 30日間

ホームステイプランは「生活する旅」。言葉の心配なんて無用。

日程／7月22日～8月20日
費用／¥338、000

大阪↓成田↓サンフランシスコ↓スタディセンター・ホームステイ↓サンフランシスコ↓成田↓大阪

お問合せ・お申込みは阪急交通社三宮営業所 電話331-3555

ファミリーな雰囲気の明るい店。軽いお食事のメニューもあります。



COFFEE HOUSE
カフェ
ハウス

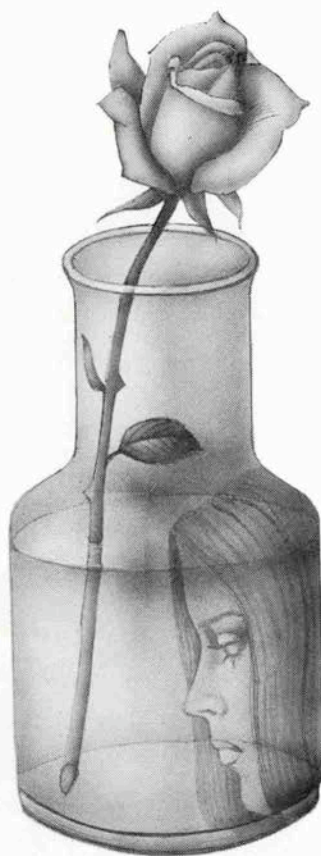
8:00AM ~ 11:00PM 無休
国鉄元町駅東口山側
TEL 331-4376

神戸 ■ 西口 国鉄元町駅 東口 ■ 三宮

夢の消滅

最終回

大原 由記子 え・南 和好



夜中近く喚く声で実桜は目をさました。甲高い声は牙子で鈍いハスキーな声が一央であることはすぐわかった。何やら言い争っていることが自分のことであることもすぐわかった。

「あのままじゃいけないよ。九度の熱がここ三日続いている。医者を呼ぼう。」

「だめよ。ここに他人を入れちゃあ。」

「じゃ君が直せると言うのかい。」

「ええ直せるわ。」

「ぼくにはそう思えない。Mは君の薬をちゃんと飲んでるが、少しもよくならない。かえって悪くなってる気がするよ。」

実桜はふらりと居間のドアを開けた。きいっという金

属音が二人をふりかえらせた。牙子は実桜を暖炉の前に坐らせた。実桜は牙子の煙草を取って吸った。
「Mに選ばせましょうよ。ここにいるかお医者さんにかかるか。」

実桜は気持よさそうに白い煙を吐いた。

「ここにいるわ。」

「君たちはどうかしてるよ。」

一央は怒ったようにドアを閉めて出ていった。

実桜は熱っぽい体を牙子のベッドに横たえた。

「はい、これ。」

牙子は棚からいつもの薬を実桜に渡した。実桜はメロシジュースにはらばらとふった。

「これほんとに薬なの。」

実桜は光の加減でさらにきら輝く粉を見詰めた。

「じゃなかったらどうするM。」

実桜は上目使いで冴子を見ながら「ぐくり」とジュースを飲みほした。

「なんだっていいわ。」

実桜は物憂そうにグラスを冴子に渡し窓の外を見た。

何か鋭い視線が雪の降る彼方から、一挙一動を観察している気がして窓辺に立った。しかし闇のむこうはどこまでも暗く、冴子の部屋が写っているだけだった。

「どうしたの。」

冴子は実桜の肩に手を置いた。

「佐野恵よ、きつと。」

「M、熱のせいよ。彼の夢でもみたんじゃない。」

「そうね。あの杉の下で夜が明ける前から立ってたのよ。いつも着てたグレイのコートに白いジーンズで。きつと彼がいたあたりには吸い殻が残ってるはずよ。」

「さあ眠りなさい。夜が明けてあたたかな日が射すまで、春まで眠ってもいいのよ。その頃にはすっかり楽になるわ。」

実桜は呪文のように繰り返す冴子の言葉を、うつろになる意識の内側で聞いている。柔らかな言葉が実桜の首もとに絡まりじわりとしまる気がした。しかし苦しみはなく奇妙な甘さがまきつく。きつと薬のせいだと実桜は思う。麻薬常習者がいとも簡単に酔いの世界にもぐり込んでしまうように、酔い醒めにどんな悪夢が待っているかと、実桜は冴子の膚にもぐり込んでしまう。苦痛さえも甘美なよろこびに変わる。快と不快は何かの拍子にはくると変わる。その脆い境でいつも冴子待っている。否冴子待っているのではなく実桜の中でその瞬間まで眠っている自分らしさを待っているのかもしれない。凍結されていた自己が花開く思いで自由になる。実桜と同じぬくもりと乾いた膚を持つ冴子に触れられるとき。

体の表面がぬるめると湿っていた。肌着が汗を吸って

かばかばしていた。毛布が熱気をはらんで重いのを、実桜はやつとの思いで持ち上げて水差しをのぞいた。唇が乾いていた。熱い胃袋に神経が集中しすぎていた。冷たい水、一滴で熱さからもだるさからも開放されそうな気がしていた。しかし水差しは軽く一滴の水もなかった。

廊下に出た。一央の部屋から光が洩れていた。まだ絵が仕上がっていないのか徹夜が続いていた。いつも五時近くになると一央は実桜の部屋にやってくる。音もたてずに寝顔をのぞいて帰っていく。ただそれだけの日々がもう四日続いている。まだ怒っているのかろくに口もきいてくれないが、昼食と夕食を用意して枕もとに運ぶ。実桜はよろけながら冴子の部屋の前を通りすぎる。灯が消えていた。今日も帰っていない。実桜は戸に顔をすりつけた。すべすべした冷たさが頬にすうと伝わる。どうして帰ってそばにいてくれないんだろ。切なさが胸に広がる。もうSにはMがいなくなったのだから。眠むいときに体を冷さないようにかける毛布と同じくらい価値でMを抱いたのだから。実桜は眩暈におそわれながら、ずるずると壁にもたれて坐った。ふふ、おかしさが広がる。飽きないって事があるだろうか、どんな美食も三日続けば嫌気もさしてしまふ。走馬燈のように冴子の姿が浮かぶ。きつい目差がふうと安らいで冴子の目が微笑む。どうしても追いつめるのだから、とことん逃げ場のない位置まで。実桜は涙もなく涙を流した。悲しい訳でもなかった。まだこんなに水気が体に残っていることが不思議だった。熱い体からふき出す涙は水のように冷たい気がした。涙のせいで体温がすうと空中へ流れこんでいく。

Sは誰よりも冷たく誰よりもあたたかくMを包んでくれた。いつも冷たく振るまっていたからこそ、Sの一瞬のやさしさがただやさしいだけの人よりは、はるかにきらりと光る。きつとSのように真から冷たい人間にしか、温かさはわからない。大抵の人間はいいかげに冷たくいいかげんに温かい。

実桜はゆっくりと立ち上った。蛇口を思いっきりあけて水を出そう。しかしどうして台所へ行くのだろう。一瞬記憶がとぎれていてなぜ廊下でつ立っているのかわからなかった。喉の乾きは失せて熱い体を寒さがゆっくりと撫でているようだった。

「磯村芽子には誰もいらない。君だって必要ない。一人で暮らしていける強い女だよ。」

佐野恵が白いセーターを夕陽で赤錆色に染めながら言う。なぜか恵の顔がわからない。表情がつかめない。きつと夕陽がまぶしすぎるのだ。眼底に赤黒く光が広がる。闇のなかにいるはずなのに足元が見えなくらい明るさが膨張する。夕陽はやさしくて弱々しいはず、なのにこの激しさは。

「恵、Sはね、一人では歩くこともできないくらい弱い女よ。」

しかし恵の姿はもうどこにもなかった。ただ明るさが媚びるように少し目のなかにあった。意識がふうつと明るさに吸収されるとあとは闇同然だった。

「どうしたんだ。」

低い声が鼓膜をふるわせていた。しばらくは声にならずただ空気がふるえているようだった。目を開けると一瞬に抱かれていた。

「いつまでこんなこと、繰り返すつもりなんだ。ぼくは明日ここを出て行く。あなたはどうする。」

実桜はだるそうに体を起こしふらりと一瞬から離れた。

なぜ私を一人にしておくのよ。きつとあなたは後悔するはず、でももう遅い。私はなるように流されるだけ。ノンとは言えないもの。

実桜はガラスにはあつと息を吹きかけて小指で書いた、Kといっしょに行くこと。

磯村芽子はドアの隙間にはさまれていた金色のカードをみつめた。裏には小木一央の判が押されていた。「一

陽会」の招待状であることが、カードを拾い上げた瞬間にわかった。雪の日々に育てた愛が今一枚の絵に復元されようとしている。

芽子はカーテンを引いて庭をのぞいた。桜草が黄色い花をつけていた。ふうつと深呼吸すると冷たい風のなかに少し混りはじめたたるさが春をつけていた。窓を開けるなんて何日ぶりだろう、と芽子は思った。実桜といっしょにこの窓から雪景色を飽きもせずに見詰めていたのは、そんな遠い日の事ではなかった。どうしているのだろうか。昨週一央に会ったときも実桜のことを聞きそびれていたし、一央も聞かれるまでは話すつもりはないらしい。

「あなたは何かあっても変らないって感じだな。」

一央の言葉が耳元に絡まる。低い声を何度か遊ばせて、芽子は金色のピアスを耳につけた。そして実桜と香りを半分にした香水を頸にふった。

もしかすると実桜に会えるかもしれない。かすかな期待が芽子の手の動きをいそがしていた。

芽子はハンドルを握りながらうつりゆく景色に実桜への想いを脱落させているはずだった。

「愛なんてどこにも育ってなかったのよ。錯覚だったのよ。」

しかし実桜は顔色も変えずに答えた。

「私が愛しているのは自分自身だけ。自分自身の皮肉な人生だけ。」

芽子は煙草に火をつけた。狭い車内に煙が不機嫌な実桜の溜息のように広がった。

そういつかきつとあなたに私への招待状を書こう。そしてあなたはまた私をノンとは言わずに受け入れるだろう。ノンと言わないことがどんなに傲慢なことか、あなたは知っているのだろうか。子供っぽい笑みで「そうね、そうするわ」と肯定することが、どんなに残忍なことか。あなたは本能的にわかっているはずだ。笑窪を作ってふふつと笑うあなたの顔が、冬の陽よりも冷たく凍ること

を私は知っている。きつとその一瞬、なやかな仮面の下の真顔がちらりと表われるのだらう。

ブレイキを踏む。危く子供を轢くところだった。丸顔の少女がアーケードの下に駆けていった。きゅうんという摩擦音で買物をしていた主婦が気がついたように自分の子供を捜している。

不意の事故か偶然であたがこの世から存在しなくなったら、どんなに気が楽だろうか。あなたはもう何度も死にかけていたのに、執着のないあなたはいつもふらりと今世にもどってしまふ。もどって罪を重ねてしまふ。そしてその度に透明になっていく。

「背徳を知らぬ娘が聖女ではないのよ。本当の聖女はいかなる不道徳、悲劇のなかにいるときでさえも優雅に存



在する女のことよ。決して罪の匂いをさせてはいけない。罪の匂いなんてのは今の世では安物の香水と同じ。品を落としこそすれ魅力にはならないのよ。」

実桜は目を輝かせながら聞いていたが、ボーイがロゼを置くとうつろな視線をグラスに落とした。もう聞いてないのかと牙子は思う。集中するという行為がどうもあなたは苦手なのだ。懸命にとか真剣に何かをする人間の下品さをあなたは心のどこかで軽蔑している。あなたはそんなつもりではなくても、回りの男たちは会話の途中で意味もなく窓の外のはるか遠くを見詰めるあなたに、軽く軽蔑された気がしてしまう。そしてあなたの目差しの彼方には何があるでもなく、ただ漠然と広がる闇があることを知ったとき男たちは愕然とする。ソファーにだらしと凭れたあなたが退屈しているのではないかと気をもみ、何らかの意味を求め漠然としたあなたの愛の虜になってしまう。

牙子はふふっとふき出して煙草の火をねじって消した。バックミラーに映った牙子の目も笑っていた。実桜と同じ目の輝きであることがよけいにおかしかった。

牙子は地下の駐車場からエレベーターで七階まで上がった。ひよっとすると実桜も来てるかもしれない。軽い期待が牙子の胸の鼓動を速めていた。しかし期待が現実へと変るめくるめく瞬間があるとは思われなかった。こんな偶然的形で会うことがどこかでためられることも確かだった。

すうっとドアが開らくと「春から冬へ」と題された長四角の会場が目にとびこんだ。

春から冬へと逆もどりするのか、牙子は楽しそうに受付の中央と同じ年ぐらいの男を見つめた。二十人そこそこの空間には小木一央も片瀬実桜もいなかった。いっしょに考えることがおかしいとも思えた。いっしょにいるとは限らないのだから。

黒っぽい色彩が多い右の空間が「冬」をテーマに、左の白っぽい空間が「春」をテーマにした絵が並んでい

た。ちやうど両方の真中あたりに冴子は立っていた。そこには籐のテーブルと椅子がいくつつか用意されていた。右側へゆっくり歩いていった。

沈んだ色のなかに狂気を内包している絵が並んでいた。ギュスターヴ・モローのサロメのように宝石箱をひっくりかえしたような宮殿に立つきらびやかな少女を描いたものもあった。いずれにせよ春のほのかな光からほど遠い人工的な輝きに魅入られたイメージの産物が多いようだった。

冴子は一央の絵を捜すことを忘れはじめていたとき、はっとする思いで白っぽい絵の前で足が止まった。暗さに目が慣れてくると白さは強烈すぎてはじかれる思いがした。やがてその絵の持つている静かな息遣いが冴子の皮膚になまなましいくらいに触れた。空間の上は遠くの山並やまばらな人家が吹雪いている雪のまにまに見えていた。雪がびゅうびゅうと風を白く染めているようだった。しかし目を下に移すにつれて雪はおとなしくやさしく積っていた。白い雪の寝床に重なり合う二人の女を見つけるまで、そんなに長くはかからなかった。それがSとMであることは明らかだった。SはMの頭を抱き上げ、Mは右手でSの乳房をつかみ左手をSの腰に回していた。膚の火照りと汗が細かく描かれすぎて、思わず冴子はコートの襟をつかんだ。禁断の木の実をざくりとかじりついた瞬間をのぞかれたように、じりじりと一央の目が冴子の存在を犯しているようだった。しかしそれは蜜をいきなり舌にのつけたとろりとした渋味のある感覚に似ていた。痺れが口いっぱいに広がる甘みはうそのように残っていない。冴子は蜜の味を思い起こしていた。膚のきめの細かさ、丸み、かたさ、それらはSとMの体を知りつくし愛撫した手しかしらないやさしさと残忍さに包まれていた。冴子はドキドキ乱れ打つ心臓の音を聞いた。

しかし二人の女の表情はむしろロマンを否定していた。上空を仰いでいるMの横顔と薄く目を開けているS

の顔には、肉の熱っぽさよりうつろに冴えている悲しさが漂っていた。「無表情」に描くよりは「悲しく」描こうとしたのは一央の願いであったのかも知れない。女の体と表情に奇異な感じを観る者にいだかせることは十分に成功していた。そして二人の女の腰のあたりから銀色の太木がよきによきと伸び、葉のない枝を血管のように広げ虚空を持ち上げていた。二人の肉をつんざいてまで伸びた古木はいったい何を意味しているのか冴子にはわかりかねたが、ただSとMとKのなかを流れているほろびの血のようなものがどくどくと音をたて死へと流れ込んでいくようにも思えた。死ぬことも生きることも飽きてしまった人間の内部にはびこる悪かもしれない。しかしそれが一央の作為であろうがなかるうが、冴子には関係ないことに思われた。

冴子是一个物語が終ろうとしているのを感じた。ひよつとすると今はじまろうとしているのかもしれない。ある季節が終り、ある季節がそこまで近づいていることは確かだった。

ひとときわ明るい窓辺に置かれたロベリアが薄い紫色の小花を幾重もつけていた。決して絵たちを引き立てることも、邪魔することもなく春をつけていた。

冴子は甘い予感に魅了されてプログラムをめくった。ナンバー36、夢の消滅、小木一央と記されていた。(完)

□大原由記子△作家V



兼てから婚約中だったが、この冬、ゴールデン目下、新婚生活で追われていると思いきや、やっていることは独身のときと余り変わらないとか。作品の方は「夢の消滅」以降完成作はなし。しかし、書きつつげているとのこととで完成作が待たれる。土佐市在住。

□南 和好△洋画家V



目下、秋の行動美術展に向けて、#化右になった女シリーズの作品を制作中。この九月八日には神戸文化ホールで「小松左京ステージI・三つの明日」と題したSFの舞台を企画、前衛的な面白い舞台装置を作りたいと意欲を燃やしておられます。ぜひご覧下さい。

talk and talk



＜神戸っ子愛読者サロン＞

★いつも「神戸っ子」拝読しています。すっかり安定した重厚な中味と美しい写真、動物園飼育日記を今頃、一番おもしろく読んでいます。ときどき涙ぐんだりしながら読むことがあります。自然を相手にしている方の文章は、何の技巧もないのに人に訴える愛情の強さあふれる文体であって、いつも感激します。書いている方にとっておられる愛情の深さが伝わってくる感動と、動物の生態について知らなかったことを教えられる嬉しさの感動と混じりあったものですね。

△東京／石橋幸子
★仕事柄、よく外国へ行くのですが、ふと「ここはどこだったっけ？」と思うこともあるんです。だけど神戸の街はどういうわけか、外国という雰囲気は強く、日本の中の外国」という感じがします。今日ハワイから帰ってきたばかりで頭も体も「時差ボケ」して、ブラリとアロードあたりを歩いていると不思議なことに、また外国にいるような気分になって、神戸とはホントにいい街ですね。

△西宮／中岡 淳
★今の世の中、平和なのかしら？私自身の考えた「現代の平和を象徴するもの」ベスト5。

①インベーター ②ナイター ③スコ ④女性週刊誌（次、夕暮れ族、ちょっと遠ってくるかなぁ。けどこんなこと書いてる私もやっぱ

り平和なのよネ。「神戸っ子」いつも楽しみにしています。がんばってください。

△大阪／北村みず恵
★「ひょうご花のフェスティバル」の中のビッグイベント「アリスインタキノ」では「万人の若者たちの熱気に包まれ、日本一のパノラマ大ステージにアリス施風が吹きあれた」とジョイントビーブルに載っていました。そういえば、私がアリスを初めて見たのは7年前の神戸女学院の大学祭でした。その頃大丸のベッコステアなどにも出ていたし、神戸でのコンサートも多くアリスの人たちが会える機会が多かったのですが、最近ではめったに神戸のコンサートはありませんね。神戸っ子6月号でポート・ジュビリーのグラビア写真拝見しました。とても懐しかったです。

△垂水／中西さちこ
★そういえば「神戸っ子」に毎年結婚特集というのがあったな、と思う此の頃。と申しますのも私、来月結婚。生まれた時から一度も離れたことのない神戸を離れることになりました。果たして職場となりませんが、天国になりますか、という表現がありましたっけ。

式はかって風見鶏のきんとブルックマイヤー氏の結婚した中山手のカソリック教会。やはり結婚一ヶ月間というのはことなく複雑な気分で、失うものと得るものを知らぬうちに天秤にかけてしまっているのです。

とちかく遠く行っても懐しい故郷神戸、「神戸っ子」の届くのを楽しみにしております。



△東灘／柴坂まどか▽

素敵なかカードが届きました

クールな六甲ムーンライトでこの夏を……

六甲山上からの素晴らしい眺望と
ムーンライト特選の料理をお楽しみ下さい。

（メニュー）

名物フォンデュ（神戸肉と山の華）6,500円より（税・サ別）
その他、ビーフカツ、カニコロックなどの一品料理。

なお、席数が限られていますので、ご予約をいただければ幸いです。また、パーティなどの場合にはご相談を承っております。

レストラン

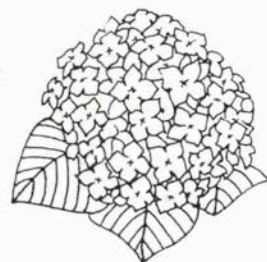
六甲ムーンライト

灘区六甲山西谷山
六甲オリエンタルホテル西100m

平日 3:00P.M.～9:00P.M.
土曜日曜 12:00P.M.～9:00P.M.
9月初めまで営業いたします。

お問い合わせは

●六甲ムーンライト TEL.891-0497
●三宮ムーンライト TEL.331-0886





baLon

collection

series

<72> ぐい呑み

服部 清美さん

(松蔭女子学院短期大学講師
創造美術協会々員)

「こんなにぐい呑みを前にしていると日本酒好きにみえますが本当は洋酒の方が好きなんですよ」とチャイナ服がよくお似合いの服部さん。御主人の曾祖父が竹裡館吟秋という九谷焼きの大家で、その作品三十点余りをもとに、各地を旅行された時、手軽に買えるぐい呑みの収集を始められた。細かな柄で美しい色彩の九谷焼きは絵を描かれる服部さんにとっても魅力のある大切な品々。珈琲を飲みながらいとおしそうに手にとられた。

さんプラザ店にて
カメラ/橋本英男



バロン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00

★コーヒーショップ センター街店
TEL 321-4626 AM7:30~PM11:00

★コーヒーショップ神戸亭 三宮センタープラザ店
TEL 332-6361 AM10:00~PM9:00



氷鉢 冷しそうめん



煮物椀 造り氷室



フォアグラ煮凍

文月

懐石料理

この度私共の花くま路のお味を、広く皆様方に御賞味して戴きたいと存じまして、六月十五日よりさごう神戸店地下食料品売場におすし、和惣菜のコーナーを開かせて戴きました。ぜひ一度お立寄下さいまして御賞味旁々御指導御鞭撻の程心からお願い申し上げます。

花くま路

神戸・花隈町
でんわ(382)〇二一五

協賛 日の出みりん

神戸のうまいもとドリンキング

★日本料理

- 讃岐名代うどん **あこや亭**
兼合区塚通7-5 ☎ 231-6300
トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306
- 北海道郷土料理 **蝦夷**
生田区中山手通1-115東門筋東門会館ビル1階
☎ 331-7770
- 和食 **くれない**
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎ 331-0494
- 鍋もの・おむすび **味噌味**
三宮さんちカクウ ☎ 391-5319
六甲店 ☎ 822-3564
- たこ焼 **ちばな**
三宮センター街(旧柳路) ☎ 331-0572
- 民芸御食事処 **五事**
炭焼ステーキ
元町3丁目山側 ☎ 391-3156
- 活伊勢海老料理 **中納言**
神戸プラザホテル店(2F)阪神国鉄元町浜側 ☎ 331-7918
神戸元町本店/国鉄元町東 ☎ 392-1685
- 本格派日本料理 **割烹吉本**
生田区中山手通2丁目98(生田警察署西口前)
☎ 331-5817・392-2020
- 山菜料理 **六段**
国鉄三宮駅山側 ☎ 231-0406
- 新和食処 **あじびる**
阪急三宮駅山側 ☎ 332-3456
- 欧風焼鳥 **トリドリ**
生田区中山手通2-13 生田ソシアルビル ☎ 391-3028
- ★西洋料理
- レストラン **アポロン**
兼合区八幡通5-6 ☎ 251-3231
- レストラン **皮くあらかわ**
生田区中山手2-9 ☎ 221-8547・231-3315
- ステーキハウス **グリラ青山**
生田区中山手通2-112-2(トアロード) ☎ 391-4858
- レストラン **クィーンズコート**
生田区山本通2丁目31 ☎ 242-2469
- ステーキ&ドリンクス **神戸館**
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F ☎ 321-2955
- スカンディナヴィア料理と世界の民族音楽の店 **ゴックスタッド**
生田区山本通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131
- 佛蘭西料理 **KARIN**
神戸プラザホテル2F(元町駅南) ☎ 331-4558

Café et Restaurant

- アンドゥトワ**
生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639
- レストラン **セントジョージ**
生田区北野町1-130 ☎ 242-1234
- レストラン **男爵**
生田区中山手1-18
山手第一ビル1F ☎ 241-0778
- メキシコ小料理亭 **ティファナ**
生田区中山手通1丁目4-12 パールポラズビル1F
☎ 242-0043
- Restaurant & Lounge **ボナベチ**
生田区北野町3-49 BKフラザ1F
☎ 222-5300
- ピザ・パブ **ピザ・パテオ**
生田区元町通1-49(元町1番街)
☎ 331-9378
- フランス料理 **ビストロドゥリオン**
生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727
- maison de la mode **花屋敷**
三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-2108
- ボリネシア料理 **フィッシャー・マンズ・ポート**
神戸港第4突堤ポートターミナル ☎ 331-0301
- レストラン **フック東店**
生田区栄町1-5-3 ☎ 321-3207
- SELF-SERVICE CAFETERIA **Beer House**
三宮・生田新道 ☎ 331-9554
- グリル・鉄板焼 **月**
☎ 331-2509
- 喫茶・レストラン **カフェパウリスタ**
三宮・トアロード(パウリスタビルB1) ☎ 391-0061
- ステーキハウス **れんが亭**
生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168
- BARBECUE & STEAK **六段**
生田区元町通3 ☎ 331-2108
- レストラン **フック神戸店**
生田区栄町2-24 ☎ 321-3453
- 炭焼ステーキ **凱旋門**
生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F ☎ 321-3378
- サンパとブラジル料理 **コパカバーナ**
生田区中山手通2-33-1 ☎ 332-6694・6697
- The glill **BOB(ボブ)** トアロード西山側
生田区北長狭3ファーストパブ2F ☎ 392-2500

CAFE RESTAURANT ふじい

- 生田区中山手通2-33-2 ☎ 331-5485, 5235
- ドイツレストラン **ハイデルベルク**
生田区山本通2丁目
ローズガーデン2F ☎ 222-1424
- ボロニア風生パスタの店 **カプリオ**
神戸三宮さんプラザB1F ☎ 391-5206
- シルクロード料理 **ぶはら**
生田区中山手通1丁目19 クラン山手B1
☎ 241-7017
- ★喫茶
- コーヒーラウンジ **City of City**
生田区三宮町3丁目2-11 ☎ 331-1117
- ティー&スナック **エボック**
生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694
- 喫茶 **ガーデニア**
生田区東町113-1 大神ビル1F
☎ 321-5114
- 宮水のコーヒー **にむら珈琲店**
中山手店・生田区中山手通1-70
☎ 221-1872・231-9524
センター街店・生田区三宮町2-35
☎ 391-0669
- 北野店・山本通2-9 ☎ 242-2467
(会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880
- ピアノホール **バックステージ**
生田区三宮町1 サンプラザ10F サンロイヤル
☎ 332-0230
- 珈琲 **モーツアルト**
生田区山本通2-98 グランドマンション1F
☎ 241-3961
- ファッションブル **キングスコート**
生田区山本通2-111 キングスコート内 ☎ 242-7090
- 珈琲 **ん**
生田区三宮町2丁目25(トアロード) ☎ 391-1589
- ★club
- c l u b **飛鳥**
生田区中山手通1-117 ☎ 331-7627
- c l u b **小万**
生田区東門筋中島ビル3F ☎ 391-0638・4386
- c l u b **さち**
生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120
- クラブ **千**
生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077
- c l u b **なぎさ**
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626
- クラブ **るふらん**
生田区北長狭通1-111-11 ☎ 331-2854
- c l a u b **Moon Light**
Club ☎ 331-0157 BAR ☎ 331-0886・391-2696

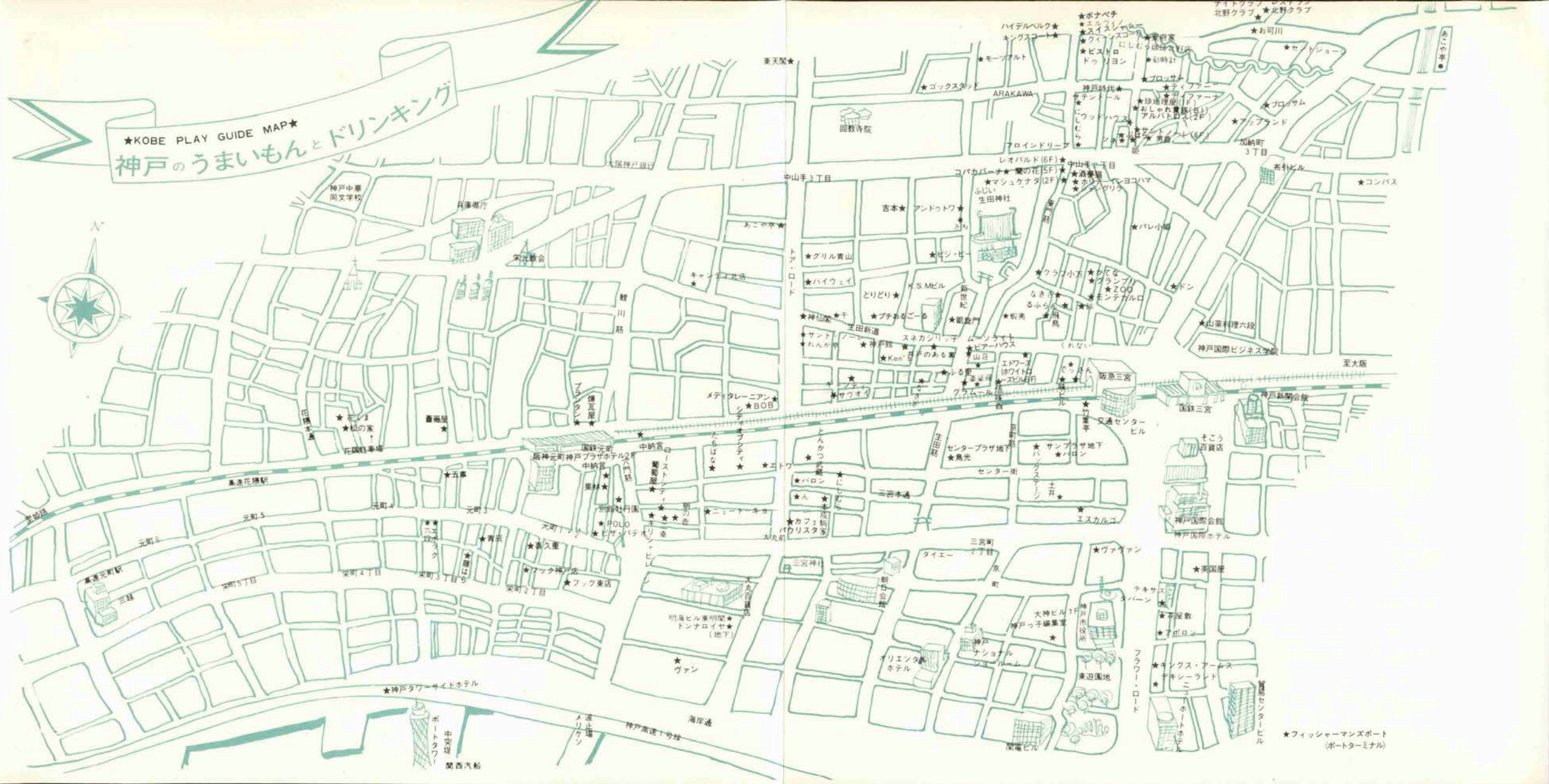
★STAND & SNACK

- TEA & SNACK **ブロッサム**
加納町店/生田区加納町2ノ72 ☎ 221-9182
北野店/生田区中山手1丁目24-1 ヒルサイドテラス
☎ 078(242)5000
- PUB & RESTAURANT **アップランド**
生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271
- サロ **アルバトロス**
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300
- DRINKING IS AN ART OF LIFE **ウッドハウス**
生田区下山手通1-32 ☎ 241-7320
- プチシャンソン **ET エトワ TOI**
生田区三宮町3-1 スカウト・アール3F
神戸トアロード三宮センター街西入口 ☎ 332-1755
- 純会員制 **エドワーズ倶楽部**
生田区北長狭通1-28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道
☎ 391-3300
- SNACK **プチおるごーる**
生田区下山手通2ノ7ノ1 K.S.Mビル2F
☎ 078(332)2680
- ナイトイン **おしゃれ貴族**
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザB1 ☎ 242-1925
- スナック **蘭の花**
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ5F ☎ 391-4455
- スタンド **かてな**
生田区中山手通1-90 英健ビル1F
☎ 331-1316
- 本店洋酒の店 **キャンティ**
生田区北長狭通2-3
☎ 391-3060
- 北店スープとパンの店 **生田区下山手通3-8-9**
☎ 331-3661
- スタンド **グラムール**
生田区山本ビル地階 ☎ 331-4637
- サロ **神戸時代**
生田区中山手通1-28
モンシャットウコトビル ☎ 242-3567
- カクテルラウンジ **サヴォイ**
高梁山側 テキの店北 ☎ 331-2615
- SNACK ROOM **ホリデーインヨコハマ**
東門筋紅馬車前三角ビル2F
☎ 392-1255
- スナック **Z O O**
国鉄三宮駅山側 正家そばビル北隣 三浦ビル4F
☎ 332-6015

ミュージック・ラウンジ サントノーレ

- トアロード店 生田区下山手通2トア・ロード
☎ 391-3822
- 北野店 生田区中山手通1-24-7
ダイワナイトプラザ6F ☎ 221-3886
- スナック **レオバルド**
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ6F ☎ 391-0992
- DRINK SNACK **スネカジリッ子**
生田区下山手通2 永晃ビルB1
☎ 391-8708
- Wine and something **珍地理屋**
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288
- 素舌洞 **でっさん**
生田区北長狭通1-258 ☎ 331-6778
- STAND **マシュケナダ**
生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F
☎ 331-5587
- サロ **ンパレ小姫**
生田区加納町4丁目神三ビル2F ☎ 332-1098
- SNACK **シャングリラ**
生田区中山手通1 マリンビル1F ☎ 391-8941
グランプリ・中山手通1 ニュー・友藤ビル2F
☎ 391-4406
- WINE & RESTAURANT **酒夢猫**
生田区中山手通1-76 神戸酒販ビル2F
☎ 332-3308
- 本広光夫のミュージックサロン **ティファニー**
生田区中山手通1 ☎ 241-1771
- ★喫茶
- 喫茶館 **英國屋**
神戸国際会館浜側 ☎ 251-4562
- 喫茶館 **葡萄屋**
三宮センター街3丁目 ☎ 391-9006
- カフェ・ド **プランタン**
国鉄元町駅東口山側 ☎ 331-4376
- 珈琲館 **煉瓦屋**
国鉄元町駅東口山側 ☎ 331-3667
- 喫茶専門チェーン 株式会社ミカド **ヴァヴァン**
三宮花時計北ハニービル2F
TEL. 331-9703
- コーヒー&フレッシュジュース **ヴァン**
農業会館B1
TEL. 333-5973
- コーヒー&フレッシュジュース **ドン**
国鉄三宮駅北 日生ビル隣
TEL. 391-4686

神戸のうまいもん



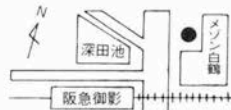
菜彩多味道好



湯葉の風味を開けると…法海葡萄團 〈精進料理〉

御影 別館 牡丹園 ®

御影本店 / TEL.078 (821) 6666 阪急御影駅山側・御影ガーデンシティ 2F
 11:00AM~9:30PM (ラストオーダー 9:00PM) 無休・駐車場完備
 さんちかタウン店 / TEL.078 (391) 1930
 貿易センター店 / TEL.078 (251) 5555
 西明石店 (新幹線西明石駅構内) /
 TEL.078 (928) 4013



一番上
 上湯で煮込んだ冬菇・鮮菇
 水炊き 冬菇・麻姑・小竹筆
 などを油通した生腐皮で
 包み蒸しあげます。上湯で
 味付けした発菜、生葉と共に
 に盛りつけます。目の前で
 腐皮の袋を切り開き、
 で味付けたたれをかけて出
 来上がりです。上品なこく
 のある味わいをお楽しみく
 ださい。(予約特別料理)



味に厳しい神戸っ子に愛されているデリカテッセン。ご自慢のサーモン・ハム・ソーセージを夏の食卓にどうぞ。世界の食料品の店

トアロードデリカテッセン

トアロード ☎331-6535



盛夏に最高におしゃれな白を自信を持って着てほしいのです。北野町の緑の街並みと白いドレスがマッチして。ブティック・コットンハウス 〈セントジョージのショーから〉

魔 BOUTIQUE 女 大里 最世子
異人館倶楽部3F ☎222-1773



夏到来。海がキラキラ輝いて呼んでいます。夏の海にはよく似合う各国のマリンファッションが揃いました。

Marine Boutique

CHASSE

神戸国際ホテルショッピングアーケード ☎251-8161

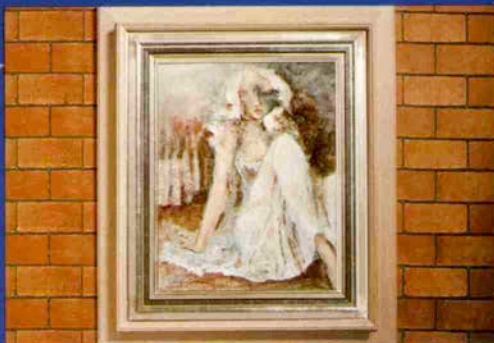


緑に映えるジャケットスーツを着こなす山本憲徳さん。お洒落の解る男性らしくこうしているだけでもサマになる。紳士服

ADAM

岡田 巖

葦合区御幸通6御幸ビル6F ☎221-9314



豊富な種類の画材・額縁、美術用品を揃えた店。四季に合わせて絵と額の調和を考える——などいかがでしょう。
画材・額縁

末積製額

トアロード・大丸前 ☎331-1309



トア・ロードの赤い三角屋根が目印です。ポートレートやお見合写真を撮りたい方はどうぞご予約ください。
お見合写真(予約制)・ポートレート

三宮写真室

神戸トアロード筋NHK放送局北隣 ☎241-5530代



年齢をとわず、本物志向の貴女にべっ甲の髪どめはいかが？ 暑い夏、髪どめのおしゃれですっきりと涼し気に。
べっ甲

太田べっ甲店

元町1番街 ☎331-6195



香り高い珈琲とサンドウィッチはいかがですか。元町五番館はハイセンスタウン元町のシャレたオアシスです。

戦風展

元町五番館

元町1番街浜側 ☎331-1718(無休)

SUMMER SHOPPING



鮎塩焼、鯛薄造り、吸い物椀(卵豆腐、そうめん、蛇の目きうり)

季節料理



栄 彌

本店 大丸前三宮神社東 電話(078)331-5772
 毎水曜休 営業時間11:30AM~9PM
 支店 さんちか味ののれん街 電話(078)391-5233
 第2・3水曜休 営業時間10AM~9PM

ゆったりした小部屋で日本料理をお楽しみ下さいませ



いずれも2階小座敷



新 竹葉亭

神戸市生田区北長狭通1丁目1-5
でんわ078(331)1120代表



いつもの調子で、あなたがおいに楽しんでください。
だって“金属”の主役は私でも僕でもないんですから。

金属
bar
KINZOKU

生田区中山手通1 ヒルサイドテラスB1
☎242-0124 日祝休



クラブるふらんでお世話になりましたチャコの店です。
落ち着いた大人のムードで、夏の夜をお過ごし下さい。



ROYAL ROOM 桜

びいらぎ

生田区下山手通2(生田新道) KSMビル1F

☎332-5616 日祝休



晴れた日にはテラスでお食事を。さ、イタリア人のように
ワインで乾杯。陽気に陽気に♪

RESTAURANT
PAPPAGALLO

生田区中山手通1 ヒルサイドテラス4F ☎242-6808
西宮店 / 西宮市南越木岩町2-19 ☎0798-73-6534



気軽な雰囲気のあるナナで、より楽しく過ごしていただ
くために、あなたの“美声”にギターの伴奏がつけました。
(リザーブ・¥4,800、レミー・¥10,000)

snack
77 nana



生田区中山手通1 91 第2ビル3F

☎332-1277 日祝休

SUMMER SONG

Love to me is like a summer day
If it ends the memories will stay

NIGHT IN KOBE

Still and warm and peaceful /
Now the days are getting long, I can sing my summer song.



コパカバーナからサンバで湧きあがる神戸まつりに参加
サンバ好きのあなた、コパカバーナは毎晩サンバ色です。

サンバとブラジル料理

COPACABANA

生田区中山手通2丁目33-1 ☎332-6694-6697
6:00PM~3:00AM 日曜休(祭日は営業)



The Best Things in Life are Music and Whisky.

Piano Bar
BACKSTAGE

生田区三宮町1 さんフラザ10F サンロイヤル
☎332-0290 第1月曜休
Coffee Time 11:00~6:00
Whisky Time 6:00~12:00



こんなに楽しい神戸の夜はめったにない。そんな気分にな
ってしまいうローズルームは、いつもバラ色の雰囲気。

ローズルーム Rose Room

生田区中山手通2 東門大和ナイトブラザ7F
☎332-2365-391-5044 日曜祭日も営業



おなじみサテンドールのバンドリーダー、ベースの渡辺・
健蔵の結婚披露に仲間がたくさんかけつけてくれました。

JAZZ CLUB

SATIN DOLL

生田区中山手通1 富士屋ビル1F
☎242-0100 無休



五年目の古典料理

7月14日 5周年

グ ル メ

誰が神戸の美食家たちを
殺すのか!?

美食家殿、ご用心。

シェフよりの忠告

Menu du 14 Juillet

7月13日・14日・15日

8,000円

(税、サ、別)

Jardinier de la mer

(すずき、はたて貝、えび、ムール、アボガ、ハリコベ等の庭師風)

Galette de poisson Sauce tomate

(魚のキャレット トマトソース)

Filet de bœuf farcie aux

mousseline de poulet blanc

(フィレ肉の鶏と野菜のムース包み焼き)

Sorbet (シャーベット)

Café (コーヒー)

Suntory Wine 各種

Bistrot de Lyon

神戸市生田区山本通2丁目40-1

TEL 078 (221) 2727

スパゲティ専門店



三宮店 ●神戸市生田区三宮町1-5 サンロイヤル神戸10F (さんプラザ)

☎078-332-4551

営業時間 午前11時～午後9時